

熊本地震への対応

全社一丸で、早期復旧に努めました

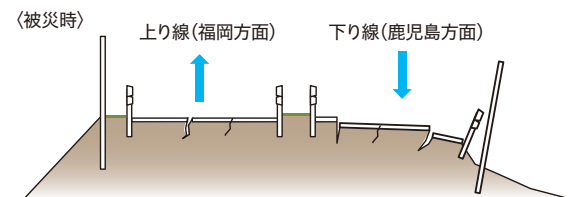
2016年4月の熊本地震では、九州自動車道をはじめとした9路線、延長507kmで通行止めとなりました。

被災直後から、被災箇所の早期復旧に向け、NEXCO西日本グループの総力を結集するとともに、関係機関、建設業界等からの協力のもと、余震が続く状況の中、24時間体制で復旧作業を行い、4月14日の前震以降25日ぶりの5月9日に九州支社管内すべての高速道路の通行止めを解除しました。

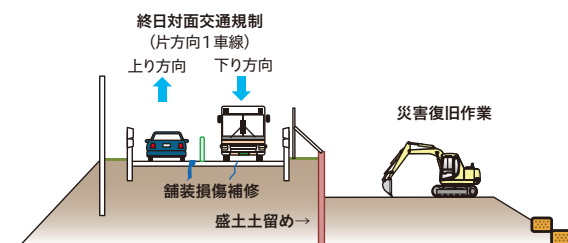
地震発生直後の災害対策本部立ち上げ以降、すべての区間の通行止め解除を行うまでに、延べ48回の本部会議を開催し早期解除に努めました。また、当社グループで延べ1,300人規模の九州支社への応援により、24時間体制で点検や復旧作業を実施し、早期通行止め解除に努めました。

また、特に損傷が大きかった箇所については、現在、緊急措置として終日対面交通規制(片方向1車線)による交通運用を実施しています。引き続き全力で復旧作業に取り組み、通行制限(速度規制、重量車両通行制限)の緩和に努めてまいります。

九州自動車道 益城熊本空港IC～嘉島JCT間 盛土のり面崩落箇所



〈復旧作業後の交通規制状況〉



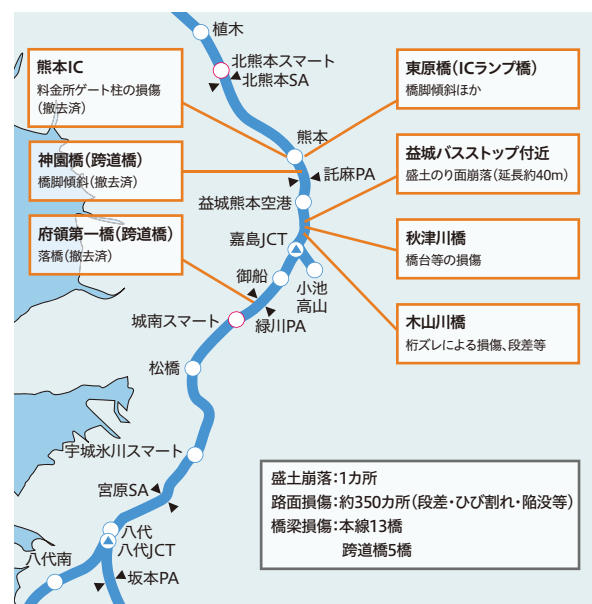
被災直後の崩落箇所



対面交通で復旧した崩落箇所



主な被害状況(九州自動車道)



主な被害状況(大分自動車道)

